

キャリア分岐点	基本的実践能力	実践能力獲得期	実践能力強化・拡大と ライフイベントの調和期	役割(視野)拡大期	キャリア充実期
経験年数の目安	2年目	3～5年目	6～7年目	8年目～	
キャリア形成目標	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ ジェネラリスト・スペシャリスト
キャリア開発 方向付け	<p>メンバーシップ研修 プリセプター研修 臨地実習指導者講習会受講 認定看護師教育課程 専門看護師教育課程</p> <p>リーダーシップ研修 ファーストレベル研修</p> <p>ケーススタディ発表 セカンドレベル研修</p> <p>看護研究発表・学会発表 サードレベル研修</p> <p>地域での社会貢献 教育担当者 院内研修講師</p> <p>リンクナース</p>				
キャリア開発の目標	知識・技術の習得(臨床実践能力獲得)		得意分野を掘り下げる	能力開発によって専門化を図る ・役割モデルとなる ・後輩育成	
	人間性・社会性の向上				
サポート視点	☆職場や職業への 適応状況の把握・支援 (再配置等) ☆OJT活用	院内研修など学習の機会の提供 院外研修・教育の活用(出張・学費支援)			
キャリアサポート基盤	個人目標による管理				
	適正配置・異動				
	ワーク・ライフ・バランス…多様な勤務形態(子育て・介護)・定年後の継続雇用				

※ 経験年数はあくまでも目安です。実際の実践能力で評価してください。

令和2年 3月5日 作成

令和3年 3月 改訂